

「これからの主なイベント・大会予定」 ※変更になる場合もあります

- 4月 2026 青森国スポ開催記念全国高校選抜剣道錬成大会 (1~2日)
第42回弘前さくらまつり協賛剣道優勝大会 (22~23日)
第31回青森県空手道選手権大会 (29日)
- 5月 弘前地区中学校春季バスケットボール大会 (3~4日)
青森県高等学校春季大会新体操 (5日)
第24回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会 (7日)
青森県高等学校春季バドミントン大会 (13~15日)
ニッタク杯全国オープン第15回りんご花まつり弘前ラージボールオープン大会 (27~28日)
- 6月 青森県高等学校総合体育大会 (バスケットボール・相撲・弓道) (2~5日)
第12回スポーツひのまるキッズ東北小学生柔道大会 (18日)
東北高等学校空手道選手権大会 (23~24日)
春季県下弓道大会 (18日)
- 7月 令和5年度青森県(弘前市)地方青少年銃剣道錬成大会 (1~2日)
第16回青森県民スポーツ・レクリエーション祭武術太極拳 (2日)
令和5年度青森県(弘前市)地方青少年なぎなた錬成大会 (8~9日)
令和5年度青森県中体連夏季大会剣道競技 (15~17日)
第8回世界剣道選手権大会第15回国際剣道親善大会 (28日~30日)

「令和5年度青森県武道館 武道教室参加者募集!!」

青森県武道館では空手道・柔道・剣道・少林寺拳法・なぎなたの五種目の武道教室を開催しています。新年度の参加申込みは3月から随時受付を行っていますので、興味のある方、これからやってみたい方は、まずはお問合せ下さい。見学や体験をしてから参加することもできます。なお、それぞれの種目において別途連盟登録費用等の諸経費が生じます。これは試合出場や昇級試験を受ける際に必要なものとなります。それぞれの加入は強制ではありませんが、少林寺拳法のみ入門者以外への技術指導ができないため、連盟加入が必須となります。詳細は講師の先生へ相談してください。

武道教室ではスポーツ保険の加入を推奨しています。加入希望の際は受付時にお問い合わせください。

教室名	開催日・時間	会場	対象	参加料
空手道教室	月 19:00~21:00 木 19:00~21:00	剣道場	小学生~一般	月額 800 円 ※ 但し、連盟登録料・昇級試験等は、別途必要です。
柔道教室	火 18:30~21:00 金 18:30~21:00	柔道場	小学生~一般	
剣道教室	土 16:00~19:00	剣道場	小学生~一般	
少林寺拳法教室	火 19:00~21:00 土 19:00~21:00	火 剣道場 土 柔道場	小学生~一般	
なぎなた教室	金 19:00~21:00	剣道場	小学生~一般	

利用状況の確認はホームページからも確認できます

各種申請書等のダウンロードもできるのでご利用ください!

PCアドレス <http://www.aomorikendoukan.com/>

スマホアドレス <http://www.aomorikendoukan.com/sphone/>

フィーチャーフォンアドレス <http://www.aomorikendoukan.com/mobile/>

〒036-8101 青森県弘前市豊田二丁目3番 「青森県武道館」

TEL:0172-26-2200 FAX:0172-26-2206



令和4年度青森県武道館「トップアスリート交流事業柔道教室」

令和4年11月6日(日)、青森県武道館主競技場で青森県武道館「トップアスリート交流事業柔道教室」を開催しました。コロナ禍での開催自粛で3年ぶりの開催となった柔道教室ですが、今回もALSOCK柔道部の現役選手の皆さんから、自分の得意としている技を惜しげもなく伝授していただきました。2021東京五輪柔道混合団体銀メダリストの男子90kg級向翔一郎選手は、「一つ一つを積み上げていけば、いつかは報われる時が来るので、それまで皆さん頑張ってください。」と、お言葉をいただき、



リオ五輪に出場した女子78kg級の梅木真美選手は「今回の経験を少しでも役立てて、将来は私に挑戦できるようになって欲しい。」と、参加者へエールを送っていました。この他にも、2022講道館杯女子78kg超級で優勝した秋場麻優選手は「私のことを知っている人が多くて嬉しい。裏を返せばそれだけ興味を持ってもらっているということなので、『頑張るぞ』という気持ちになる。」と、これからの活躍に向けて活力を高めていました。男子81kg級の佐々木健志選手からは、「私も小学生の時、このような講習会に参加していろいろな選手から指導を受けてきた。今日はその立場が逆転して教える側になったことで、少しでも力になれたらうれしい。」という力強いお言葉をいただきました。青森市出身の小橋秀規監督は「3年ぶりに触れ合うことができ嬉しいです。また、2026青森国スポのターゲットエイジである皆さんと一緒に、大きな夢に挑戦出来て光栄です。また、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。」と、今回の教室の成功を喜び、次回開催の約束までしていただきました。皆さん、ありがとうございました!



上段左より 熊代コーチ、向選手、佐々木選手、田知本コーチ、香川選手、山口選手、
下段左より 秋場選手、梅木選手、小橋監督、嶺井選手、相田選手

「第12回青森県武道館小・中学生相撲大会」

令和4年1月20日(日)、青森県武道館相撲場で、「第12回青森県武道館小学生・中学生相撲大会」を開催しました。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から県内のみの参加としましたが、それでも13団体・51人の力士たちが集まり、日頃の稽古の成果を思う存分に発揮していました。今年の個人戦小学4年生の部では女子が優勝するなど、女子の活躍も見逃せません。来年度もこの時期に開催予定です。また多くのご参加をお待ちしております。



大会結果

小学生団体優勝チーム



優勝 寺田道場
二位 五所川原相撲教室
三位 長者小学校

中学生団体優勝チーム



優勝 田舎館相撲クラブ
二位 寺田道場
三位 チーム西海岸

「青森県武道館 土俵見学ツアー開催」

令和5年2月6日(月)、普段は見ることの無い主競技場の移動式土俵の見学をメインにした「土俵見学ツアー」に21人の参加者が集まりました。また、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送の民放3社とNHK、陸奥新報社が取材に訪れました。ツアーは2階にある常設の土俵と支度部屋、鉄砲柱等を見学したのち、1階主競技場にある移動式土俵の設置の一部始終を見学し、吊下げ式屋形の幕設置体験をしていただく内容でした。参加者からは「見て、触れることができるとても良かった」と、大変好評を得ました。これからも、青森県武道館の隠れた魅力を皆様感じていただくことができるイベントを企画していきます。参加した皆様、ありがとうございました。



2F 相撲場

床下格納庫

屋形への幕設置体験

「令和4年度青森県(弘前市)地方青少年柔道錬成大会」

令和5年1月8日(日)～9日(月)、県内の中学・高校の柔道部員60名が参加し、能登谷 渉先生(五段)、内門 卓也先生(五段)をお迎えして青少年柔道錬成大会を行いました。能登谷先生は青森北高出身のため、県内の柔道事情にも詳しく、内門先生とともに分かりやすい丁寧な指導をしていただきました。受講生の弘前四中の舘坂柊人さんは「今回の指導を糧に、今後のレベルアップにつなげていきます。」とお礼の言葉を伝えていました。



「令和4年度青森県(弘前市)地方青少年剣道錬成大会」

令和5年1月28日(土)～29日(日)、94名が参加し、栗田 和市長先生(範士八段)、阿部 昭彦先生(教士八段)をお迎えして剣道場と補助競技場で青少年剣道錬成大会を行いました。栗田先生の、「剣道修練とは、一、嘘をつかない。二、怠けない。三、遣りっ放しにしない。四、我儘をしない。五、迷惑をかける。これらの五戒を守ることによって自己形成と人間社会の形成を目指すものである。」という講話には、シンとした緊張感の漂う雰囲気の中、参加した受講生のみならず、その場にいた顧問の先生方も静聴していました。



「令和4年度青森県武道館武道普及振興事業 弓道教室」

令和4年11月～令和5年2月まで、合計25回開催した弓道教室が無事に終了しました。講師の先生方の懇切丁寧な指導で、参加者の皆さんから「楽しかった」という感想を頂きました。そして、嬉しいことに今回は経験者の方のみならず、弓道初体験の全ての参加者が的的中することができました！

今年の教室は終了しましたが、「また弓を引くことができ良かった。」という経験者の方や、「昔から興味があったが、今回挑戦出来て弓道の深さを体験することができて良かった。」という弓道初体験の参加者の方も、再び弓を引く、または継続していくことができるように引き続きお手伝いしていきます。講師の先生方、参加者の皆様、協力いただいた弘前弓道会の皆様、ありがとうございました。

